OneSignal オンボーディング・データ定義点検表

最初のキャンペーンを起点として、識別子・イベント・配信テストまでをつなぐキックオフ用ワークブック

導入の判断と実行のためのIXC実務資料

2026.09 発行 · 日本語版 · PDF + Excel記入様式

この資料の活用

マーケティングと開発が、最初のキャンペーンに必要なデータと実装範囲、テスト・引き継ぎの条件について合意します。

OneSignal導入の担当者・アプリとサーバーの開発者・CRMマーケティング責任者

目次

01 最初のキャンペーン条件をデータに落とし込みます 3

02 ログイン・ログアウトまで識別をテストします 4

03 データ定義ワークシート 5

04 チャネルの準備と実際のキャンペーンの引き継ぎを終えます 6

記入と活用

PDFの基準を読み、空欄に実際の条件と未確認の項目を記入します。同じ部門のExcelには資料ごとの記入シートがあります。記入例は、実際の顧客事例や確定した見積もりと区別してお使いください。

出典を明記すれば、社内検討と業務遂行のために引用・改変してご利用いただけます。最新のファイルは www.ixc.co.kr/ja/assets でご確認ください。

最初のキャンペーン条件をデータに落とし込みます

SDKをインストールする前に、最初のキャンペーンを決めます。誰にいつ何を送り、どの行動の後に止めるかを書き出すと、必要なデータが見えてきます。

記入例：会員登録を終えたものの、最初の主要行動をまだ行っていない顧客に案内します。会員登録の完了と主要行動の完了を、どのシステムが確定するかを決めます。現在の状態を表すユーザー属性と、時点を持つ行動イベントを区別します。イベント名だけを合意するのではなく、発生時点、送信主体、値の形式とエラー処理まで記録します。

キャンペーンの質問	必要なデータ	確認方法
誰を識別しますか？	一貫した会員識別子	アプリ・Web・サーバーで同じ値
どのような状態ですか？	会員ランク・言語・利用状態	元データの値・更新時点
どの行動で始まりますか？	発生時点を持つイベント	実際の行動・受信記録
どの行動の後に止まりますか？	コンバージョン・除外の状態とイベント	コンバージョン後の配信除外

> **重複イベントを先に防ぎます**
>
> 同じ業務を、アプリとサーバーの両方が送信しているかを確認します。配信の基準となる確定イベントと担当システムを決めておけば、一度の行動でジャーニーが何度も開始される問題を減らせます。

ログイン・ログアウトまで識別をテストします

会員の数と、メッセージを受け取る端末・チャネルの数は同じではありません。ユーザーと購読を区別し、アカウント変更と複数端末の利用状況を確認します。

OneSignalのUserには、複数のチャネル・端末のSubscriptionを紐づけられます。External IDは、自社のユーザー体系と紐づける識別子です。ログイン・ログアウトの際にどのユーザーと購読が紐づくかを、SDKの動作で確認します。テストには通常のログインだけでなく、共用端末で別のアカウントにログインする場合と、退会後の再登録も含めます。

利用状況	確認する質問	合格とする結果
匿名 → ログイン	正しい会員に紐づきますか？	識別子・購読の照合
同一会員・ 複数端末	端末と会員を区別できていますか？	対象・重複受信の確認
ログアウト・ アカウント変更	前の会員への案内が残りますか？	アカウントごとの受信の分離
同意の変更・退会	除外・整理の手続きが実行されますか？	処理記録・再テスト

テストデータの管理

会員識別子は、意味が変わらない値に決めます。テスト用アカウントと本番アカウントを分け、データ定義書には秘密の値や実際の個人情報ではなく、形式と個人を識別できないサンプルを記入します。

データ定義ワークシート

フィールドごとに、実際のキャンペーンで使う条件と元データを持つシステムを結び付けます。開発者はこの表で実装と検証の範囲を確認します。

イベント・ユーザー属性の合意表

決める質問・項目	元データ・確認の証拠	自社の定義・サンプル	担当・検証日
ユーザーをつなぐ値は何ですか？	会員キー・ログイン処理		
どの行動をいつ確定しますか？	業務処理・イベントログ		
属性はどの時点で更新しますか？	元データ・更新規則		
欠落・遅延・重複はどう処理しますか？	エラー・再試行・照合の記録		
どのキャンペーン条件で使いますか？	条件式・終了・除外規則		

各項目に名称とデータ型、許容値、タイムゾーン、送信主体、変更担当を記録します。名称の変更は既存ジャーニーに影響し得るため、使用中のキャンペーンも調べます。ユーザー属性は最新の状態、イベントは特定の行動の発生情報を担うよう役割を決めます。不要な個人情報は収集を依頼しません。

> **記入例**
>
> 「購入した」という依頼を、「決済確定後にサーバーが送る購入完了イベント」として具体化します。取消や返金が発生したときに、既存キャンペーンの除外条件をどう更新するかも併せて決めます。

チャネルの準備と実際のキャンペーンの引き継ぎを終えます

アカウント設定、SDK連携、データの受信、配信結果を順に検証します。最初のキャンペーンを運用担当者が修正し、再テストできるようになって初めて引き継ぎが完了します。

- アプリのリリース日程、プッシュ設定の権限、Webサービス設定の担当、メールドメインのDNS権限を準備します。
- 権限要求の時点と拒否後の処理、実機でのリンク遷移、言語と差し込み変数の欠落をテストします。
- イベントが届いた後、対象条件とコンバージョン後の終了が実際に正しく働くかを確認します。配信リクエストの成功と実際の受信を区別します。
- 引き継ぎリストには、チャネル設定の記録、データ定義書、キャンペーン設定と検証結果、運用担当を紐づけます。

韓国国内のSMS・カカオ通知メッセージは、OneSignal JourneysのWebhookと既存の配信事業者のAPIを接続する構成を検討できます。Webhookの利用権限と、配信事業者の認証・テンプレート・配信仕様を先に確認します。中継サーバーが必要な場合は、重複防止、失敗時の処理、結果の照合を開発範囲に含めます。OneSignal自体のSMS・RCS設定とは別の連携業務です。

> **IXCのオンボーディング支援**
>
> IXCはSDK・チャネル設定、キーキャンペーン構築、運用教育・引き継ぎを提供します。SMS・カカオ通知メッセージ連携が必要なら、中継サーバー開発と配信検証・運用の範囲を併せて決めます。

発行・ご利用について

アプリ・Webの構成とリリース日程、最初のキャンペーンの条件をもとに、データ定義とチャネル構築の範囲を検討します。

IXC Corp.（アイエックスシー）

代表取締役 ナム・ギチョル | 事業者登録番号 109-86-56732
大韓民国 江原特別自治道春川市後石路462番キル7
春川ICTベンチャーセンター4階408号
+82-33-242-0210 | info@ixc.co.kr

www.ixc.co.kr

www.ixc.co.kr/ja/services/onesignal-onboarding

www.ixc.co.kr/ja/assets/onesignal-onboarding-checklist

参考資料

OneSignal: Users

https://documentation.onesignal.com/docs/en/users

OneSignal: Tags

https://documentation.onesignal.com/docs/en/add-user-data-tags

OneSignal: Journey webhooks

https://documentation.onesignal.com/docs/en/journeys-webhook

IXC OneSignal導入・オンボーディング

https://www.ixc.co.kr/ja/services/onesignal-onboarding